

平成 30 年 6 月 20 日（水）、ワクチンの準備をしていた看護師により、有効期限が平成 30 年 5 月 31 日の B 型肝炎ワクチン（ビームゲン）の在庫が残っていることが発覚しました。すぐに期限後に接種した患者様がいないかを確認したところ、6 月 5 日・6 月 6 日・6 月 13 日・6 月 18 日に各 1 名ずつ接種していたことが判明しました。患者様へ謝罪とワクチンの安全性および有効性のご説明をさせて頂きました。また、神戸市にも報告し、指導を受けました。

なお、該当の患者様に対しては既にご対応させて頂いております。

【今回の要因】

毎月末に、看護師により薬剤の在庫の期限を確認しておりますが、ワクチンに関しては、通常納品～使用までのサイクルが早い為、期限が切れたワクチンの在庫がある事を想定しておらず、廃棄出来ておりませんでした。また、接種時にもそのような期限切れのワクチンが存在する事を全く想定しておらず、有効期限の確認を怠っておりました。

【今後の対策・再発防止策】

1. 在庫管理の徹底

納品時に、届いた医薬品のロット番号、有効期限が納品書と相違がないかを確認する。確認後、データベースの在庫管理シートへ入力、納品書は入力が完了してから保管する。在庫管理シートは有効期限順に並べ替えておき、期限が近くなっている医薬品がすぐに把握できるようにしておく。毎月末に、在庫管理シートを見て在庫確認を行う。期限が切れるものがまだ残っているようなら直ちに破棄する。また、翌月内に期限が切れるものも確認し、当院マニュアル（新）に準じて、期限が切れる前に破棄する。併せて、これまで行っていた目視による確認も続ける。

2. 接種前の確認の徹底

診療前のワクチン準備時に看護師・スタッフによりダブルチェックを行う。

有効期限内のワクチンか、正しい種類のワクチンか、正しい接種量か。正しい接種方法か、（皮下注または筋注）、正しい接種時期か。正しい被接種者か。

接種直前にも、再度医師が確認した上で、保護者にもお示ししたうえで接種を行う。

【今回の誤接種に対する経緯・対策の提示】

今回の誤接種を重く受け止め、二度とこのような間違いを起こさないよう管理を徹底致します。当院へ通院されていた患者様ならびに諸関係者様に深くお詫び申し上げます。

平成 30 年 7 月 1 日

梅華会 理事長 梅岡 比俊

神戸本山うめはなこどもクリニック 院長 山根 秀一